



宮島大典市長が初登庁

令和5年5月1日(月)、第32代佐世保市長に就任した宮島大典新市長が初登庁しました。当日の登庁式や就任式での発言などを抜粋、要約してお知らせします。

登庁式

私のこれまでの政治家生活は32年で、このたび第32代佐世保市長に就任することに縁を感じています。

本日の初登庁に際し、市長という責任の重さを改めて感じ、身の引き締まる思いで登庁しました。

佐世保市が今後さらなる発展を遂げられるように、これまでの集大成として、粉骨砕身、市民のために身をささげながら頑張っていきたいと思えます。

就任式

市政運営については、市民の皆さま方の目線を大事にしなが、佐世保市の暮らしと経済が発展するように、全力を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

私が掲げている「99の政策」は、今後の佐世保市政の大きな指針になると思えます。今後さまざまご意見をいただきながらブラッシュアップし、推進を図

ていきたいと思えます。

市政推進に当たっては、これからも「市民目線の行政」をしっかり行っていきたいと思っています。私が先頭に立って、常に市民の皆さまがどのようなことを考えているのか、どのような気持ちで、どのような悩みがあるのか、しっかりと反省し、想像力を膨らませながら取り組んでいきますので、市職員にも改めて認識していただきたいと思えます。

また、私は風通しの良い行政をつくっていきたく思っています。明るくて、元気な行政組織をつくるのが、私の目標であり、特に、若い皆さんの意見が行政に反映されるような組織体をつくっていきたく思っています。

今日がいよいよスタートです。新しい佐世保市の幕開けです。佐世保を良くするため、ワンチームとなって頑張っていきたいと思います。

市民目線を大事に 明るく元気な行政を

99の政策(概要)

子育て支援の拡充で

子どもを核としたまちづくり

- ・第2子以降の保育料無償化
- ・中学校給食費の無償化
- ・不妊治療の市独自支援策

芸術・文化・教育・スポーツの振興で、次世代を育成

安心して健康に長く暮らせる医療体制・地域包括ケア充実

- ・県北医療供給体制の再構築
- ・障がい者福祉サービスの改善

人口増加につながる

快適で魅力的なまちづくり

- ・空き家を利活用した定住促進
- ・交通インフラ整備と渋滞対策

地域のコミュニティが輝く

安心安全の佐世保へ

- ・地区自治協議会への支援強化
- ・次世代交通による公共の足の確保

県と連携し動物殺処分ゼロ

- ・前畑弾薬庫移転返還、港の機能充実

佐世保の産業を

活性化し稼げる力へ

- ・ロボット・ドローンなど新産業の創出
- ・農業のスマート化、漁業のDX推進

市民との対話を深化させ

市民目線の行財政改革

- ・市民との車座集会の開催

プロフィール

生年月日 昭和38年6月6日生まれ

学歴 佐世保市立山手小学校

青雲中学校

青雲高等学校

一橋大学 社会学部

経歴 ・平成3年 長崎県議会議員初当選

・平成6年 長崎県議会文教厚生委員長就任

・平成10年 衆議院議員初当選

・平成21年 衆議院議員当選

・平成24年 防衛大臣政務官就任

・平成31年 長崎県議会議員当選

座右の銘 報恩感謝

趣味 映画鑑賞、スポーツ